

総合コメント

○研究成果の学術的価値が高く、また社会貢献も大であると評価できる。今後、プレスリリース等を通じて、更なる、研究成果の社会への還元と普及活動にも期待したい。

○中期目標・計画は概ね達成されていると思われる。

業務運営部分

中期計画	意見
第 1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1-1 経費の削減	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○不適正な経理処理がみられたことから、評定 C は妥当である。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
1-2 評価・点検の実施と反映	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
1-3 研究資源の効率的利用及び充実・高度化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
1-4 研究支援部門の効率化及び充実・高度化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
1-5 産学官連携、協力の促進・強化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
1-6 海外機関及び国際機関等との連携の促進・強化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見>

		<法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置		
2-1	試験及び研究並びに調査（別表）	
2-2	行政部局との連携	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○農水省大臣官房環境政策化をはじめ関係部局と連絡会を開催し、行政部局と意思の疎通を図り、それらを研究内容などに反映させている。よって、行政部局との連携を「A」良好とする自己評価は適当と考えられる。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○行政等の要請に対して誠実に対応していることから見て、事務局評価「A」は、適当と考えられる。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
2-3	研究成果の公表、普及の促進	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○見学者の大幅増や、インパクトファクターと特許の実施許諾件数が大きく上回っているが、プレスリリース数と特許出願数が目標値に達しなかったとして、「B」なる自己評価をしている。適当な評価と考える。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○研究成果を、ウェブサイト、刊行物、シンポジウム・研究会、プレスリリースなどを通じて着実に情報発信を行っている。よって、「B」評価は適当と考える。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
2-4	専門分野を活かしたその他社会貢献	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○分析・鑑定、講習会、研修生の受け入れ、国際機関への協力など、適切に実施されている。よって、自己評価の「B」標準は、適当な評価と考える。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○事務局案の「B」標準は、適当な評価と考える。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第3	予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○「B」評価は適当と考える。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○「B」評価は適当と考える。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第4	短期借入金の限度額	<法人業務実績及び自己評価に対する意見>

	<法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> ○過年度における短期借入れの実績（年度、金額） <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第5 不要財産又は不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第7 剰余金の使途	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第8 その他主務省令で定める業務運営に関する事項等	
8-1 施設及び設備に関する計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
8-2 人事に関する計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○女性研究者育成、支援に対する努力は認められる。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
8-3 法令遵守など内部統制の充実・強化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> ○「預け金」と「一括払い」それぞれについての件数と金額を示していただきたい。 <事務局評価案に対する意見> ○C 評定（一層の工夫、改善等が期待される）ではなく、D 評定（抜本的な見直しを含め、特段の工夫、改善を求める）が妥当ではないのか。

		<事務局評価案に対する確認が必要な事項>
8-4	環境対策・安全管理の推進	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
8-5	積立金の処分にに関する事項	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>

研究部分

中期計画		意見
第2-1 試験及び研究並びに調査		
	1. 地球規模環境変動と農業活動の相互作用に関する研究	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○「B」という自己評価に関して、研究成果、行政施策への貢献などを考慮すれば、それ以上の評価でも良い様に思えるが、これまでの3年間（平成23年から25年）までの研究実績と比べれば、高位安定であるが、「B」評価が適当な評価と考えられる。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○事務局の「研究が中期目標・計画通りに着実に進捗している」との判断に関して、同意できるものであり、「B」評価案は適切と考える。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
	2. 農業生態系における生物多様性の変動機構及び生態機構の解明に関する研究	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○中期目標・計画通りに進捗している。また、査読付き論文数が多く、IF値も高いので、「B」標準以上の評価でも良いように思えるが、農環研では恒常に高い質の研究が行われているものを考えれば、「B」が適当な評価と思われる。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○優れた研究が多数創出されているが、農環研のレベルの高さを考慮すれば、事務局案の「B」評価を妥当と考える。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
	3. 農業生態系における化学物質の動態とリスク低減に関する研究	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○カドミウムとヒ素の同時低減技術の開発や当初計画外の放射性セシウムのリスク低減に関する研究など、その成果は社会への貢献が大である。よって、自己評価の「A」は適当と考えられる。査読論文数やIF値は十分と思われるが、プレスリリースが、多少、少ない様に思える。成果公表の機会を積極的に作って頂きたい。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○業務実績と社会への貢献度を考えれば、「A」評価は適当であると考ええる。

		<事務局評価案に対する確認が必要な事項>
	4. 農業環境インベントリーの高度化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○中期目標・計画を達成しつつ、福島県農地土壤中放射性セシウム濃度分布図の公表など社会的な貢献も大きいので、「A」なる自己評価は適当と考える。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○学術的価値と、社会への貢献度合いを考えれば、事務局評価案の「A」は適当と思われる。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>

総合コメント

- 行政部局の要請に応えた対応を積極的に進めている点は高く評価できる。
- 研究成果の学術的価値が高く、また社会的貢献も大いに評価できる。研究活動のみならず、研究成果の社会への還元と技術の普及活動にも期待したい。
- 中期目標・計画は概ね達成されていると思われる。

業務運営部分

中期計画		意見
第1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置		
1-1 経費の削減	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○不適正な経理処理がみられたことから、評定 C は妥当である。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>	
1-2 評価・点検の実施と反映	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> p.17: 研究課題推進のためのインセンティブ付与のため、研究費配分額を変えているとのことだが、前年度の評価ランクが B（標準以下）の評価ランクに 0.1 を乗じた額を配分するのはなぜか？ 0 でも良いのではないのか？ ここで記載されている B とは、今年度の基準に則しているのか（B が標準）？ <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>	
1-3 研究資源の効率的利用及び充実・高度化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>	
1-4 研究支援部門の効率化及び充実・高度化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>	
1-5 産学官連携、協力の促進・強化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>	

	1－6 海外機関及び国際機関等との連携の促進・強化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置		
	2－1 試験及び研究並びに調査（別表） 2－2 行政部局との連携	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○期間中の行政部局との要請に的確に対応し、多くの成果が行政の場で活用されていることから、「A」なる自己評価は適当と考える。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○密な連携体制を高く評価できるので、「A」なる事務局評価案は妥当と思われる。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
	2－3 研究成果の公表、普及の促進	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○平成26年度においては、プレスリリース数特と特許出願数が目標値を下回ったが、全体としては、中期計画の目標値を上回る見込みであることから、「B」評価、或いは、それ以上の評価で適当と考える。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○全体として、中期目標・計画の達成が見込まれるので、「B」評価は適当な評価案と考える。また、査読論文の公表の多さや高いインパクトファクターを考えれば、「B」以上の評価も可能と考える。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
	2－4 専門分野を活かしたその他社会貢献	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○業務実績は中期目標・計画に照らして、適切に実施されている。それに加えて、原発事故後、国、県の要請に応じて、放射性物質の測定や測定法の講習などその貢献度は大きく、それらを勘案すれば、「A」評価は適当と考える。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○事務局では、原発事故後の迅速な対応などの貢献を考え合わせて、「A」評価としている。実際、期間中の貢献を考慮すれば、「A」評価に同意する。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
	第3 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○「B」評価（標準）は適当と思われる。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> ○「B」評価（標準）は適当と思われる。 <事務局評価案に対する確認が必要な事項>

第4 短期借入金の限度額	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> ○過年度における短期借入れの実績（年度、金額） <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第5 不要財産又は不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第7 剰余金の使途	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
第8 その他主務省令で定める業務運営に関する事項等	
8-1 施設及び設備に関する計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
8-2 人事に関する計画	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> ○女性研究者の活用、支援についての努力は認められる。 <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見> <事務局評価案に対する確認が必要な事項>
8-3 法令遵守など内部統制の充実・強化	<法人業務実績及び自己評価に対する意見> <法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項> <事務局評価案に対する意見>

		＜事務局評価案に対する確認が必要な事項＞
8－4	環境対策・安全管理の推進	＜法人業務実績及び自己評価に対する意見＞ ＜法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項＞ ＜事務局評価案に対する意見＞ ＜事務局評価案に対する確認が必要な事項＞
8－5	積立金の処分に関する事項	＜法人業務実績及び自己評価に対する意見＞ ＜法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項＞ ＜事務局評価案に対する意見＞ ＜事務局評価案に対する確認が必要な事項＞

研究部分

中期計画		意見
第2－1 試験及び研究並びに調査		
	1. 地球規模環境変動と農業活動の相互作用に関する研究	＜法人業務実績及び自己評価に対する意見＞ ○過去4ケ年の評価は「標準」であるが、期間の自己評価が「A」である。期間評価は5年間の平均ではなく全体としての評価であり、優れた研究成果の創出や行政・国際貢献から判断すれば、また、5年を通じて高い状態を維持していることを考慮すれば、「A」評価は適当と思われる。 ＜法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項＞ ○温暖化緩和策の中で、温室効果ガスの発生源として水田や窒素肥料の他に反芻動物の消化活動、家畜排泄物もかなりのウェイトを占める。研究項目の中に、畜産における温暖化緩和策に関する研究の記述が見当たらないが、他の独法で集中的に行われているのか？そのような独法と連携する必要があるのではないのか？ ＜事務局評価案に対する意見＞ ○事務局評価案「A」も、行政・国際貢献や学術的貢献度の高さを評価したものと考えられ、適当な評価案と考える。 ＜事務局評価案に対する確認が必要な事項＞
	2. 農業生態系における生物多様性の変動機構及び生態機構の解明に関する研究	＜法人業務実績及び自己評価に対する意見＞ ○期間中の研究業績や社会貢献は、非常に高い評価できるものと思うが、過去4年の年度評価は「標準」としている。このような場合は、通常は、「B」評価が適当と思われるが、恒常的に高い状態を維持することの困難さを考え合わせれば、「A」評価が適当と考える。 ＜法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項＞ ＜事務局評価案に対する意見＞ ○事務局案「A」は、適当な判断と考える。 ＜事務局評価案に対する確認が必要な事項＞

	3. 農業生態系における化学物質の動態とリスク低減に関する研究	＜法人業務実績及び自己評価に対する意見＞ ○コシヒカリ環1号の作出や汚染水田の浄化技術の開発など、その研究成果は学術的価値が高く、社会的貢献度合いも大きい。よって、「A」なる自己評価は適当と考える。 ＜法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項＞ ＜事務局評価案に対する意見＞ <u>○事務局評価案は「S」である。コシヒカリ環1号の作出や、当初計画にないセシウム汚染水田の浄化技術の開発などを高く評価した結果と思われる。しかし、農環研の研究レベルの高さや、他の研究課題でのアウトプットと比較して同等であることを考えれば、「A」評価でも良いように思われる。</u> ＜事務局評価案に対する確認が必要な事項＞
	4. 農業環境インベントリーの高度化	＜法人業務実績及び自己評価に対する意見＞ ○中期目標・計画の達成に加え、当初計画外の原因事故警戒区域での土壌調査や農地土壌のセシウム濃度図の公表など、学術的価値に加えて社会的貢献度は大きいと判断する。よって、「A」なる自己評価は適当と考える。 ＜法人業務実績及び自己評価に対して確認が必要な事項＞ ＜事務局評価案に対する意見＞ ○研究実績と社会貢献を勘案すれば、事務局評価案の「A」は適当と考える。 ＜事務局評価案に対する確認が必要な事項＞